

ICANN53会議全体報告



一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
インターネット推進部・IP事業部
奥谷泉

ICANN53開催概要

□ 日時:2015年6月21-25日

□ 開催地:アルゼンチン・ブエノスアイレス

□ 今回の特徴

- IANA機能の監督権限移管に大きな進展
- ICANN説明責任を取り巻き提案の方向性の再調整
- 新gTLDでは進捗に影響を及ぼす問題は確認されていないが継続課題あり

個別セレモニー@ICANN53



ICANN、JPRS、JPNICでICANN文書翻訳に関する覚書を締結

新gTLD

- オークションの金額の取り扱い
 - 13件のオークションにより5800万 USD を超える収入の見込み
 - Community Working Groupを設立し検討する方向
- 次のラウンドに向けてのレビュー
 - 第1ラウンドにおける課題分野を洗い出し、課題報告書の策定をGNSOで承認
- 国名、地域名の登録
 - トップレベルでの国名、地域名の利用の是非に関するWG、GACでの地域名の利用に関する検討、セカンドレベルでの2文字ドメイン名の利用開放

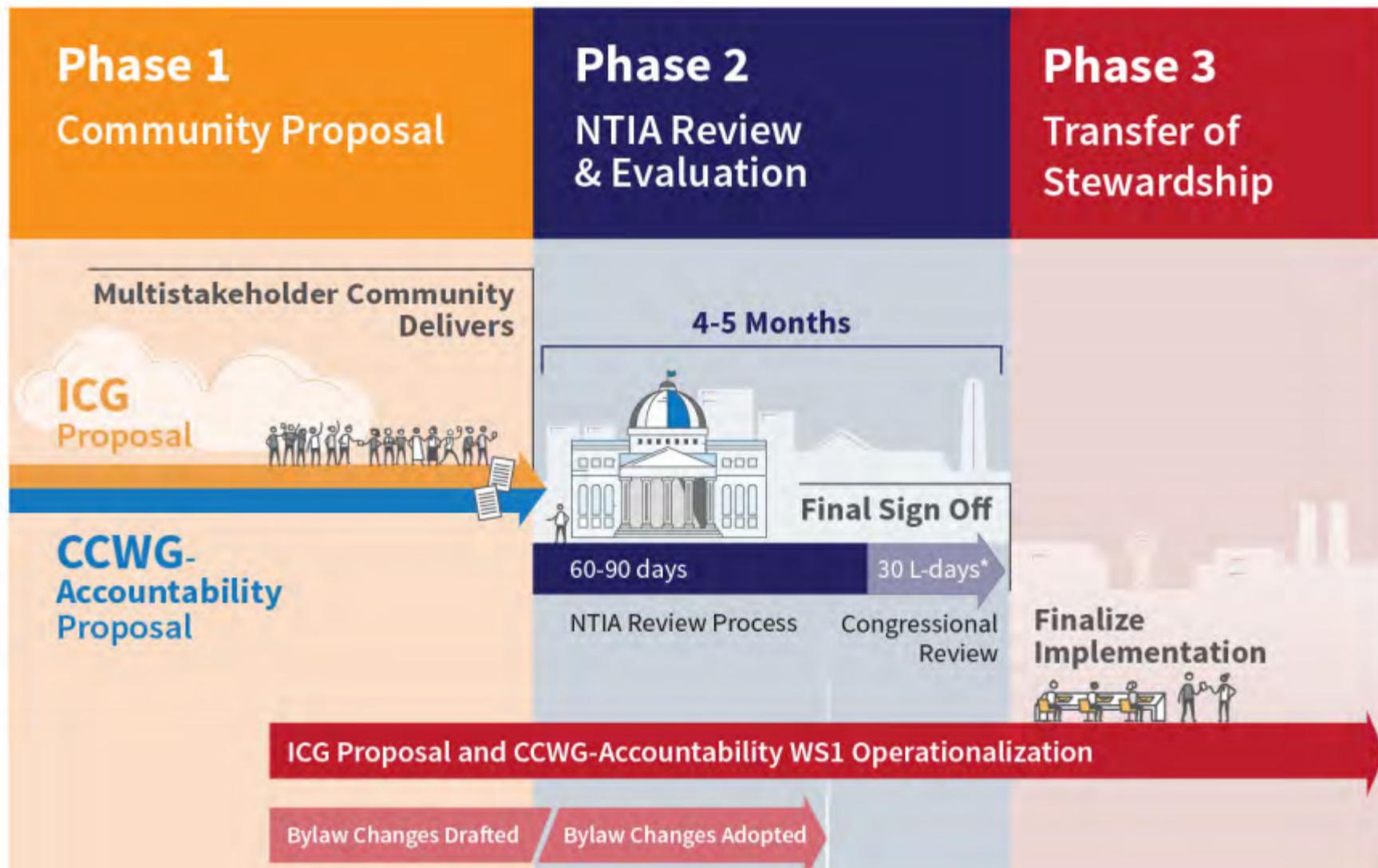
新gTLDのUniversal Acceptance

- 新gTLD、IDN TLDが従来のTLDと同じようにすべての環境で利用できない問題への対応
- Universal Acceptance Steering Group (UASG)をICANN52会議で設立
 - <https://community.icann.org/pages/viewpage.action?pageId=47255444>
- 技術的な対応
 - Email Address Internationalization (EAI)ソフトウェアの開発と実装
 - システム設計者およびプログラマ向けのBest Practicesガイドラインの策定
- 計測とモニタリング、周知活動、IDNに特化した検討

IANA機能の監督権限移管の進捗

- ドメイン名に機能に関する提案を策定するCWG-StewardshipからICGへ提案提出
- プロトコルパラメータ、番号資源、ドメイン名の全IANA機能における提案が出揃った
- 3提案で唯一の相違の可能性のある点はIANAトレードマークとiana.orgドメインの知財の扱い
- ICANN53前にICGを通してNTIAから実装に向けたスケジュールの提出が求められるなど移管の実装も含めた計画への着手

IANA機能監督権限移管：今後の流れ



ICANNの説明責任強化に向けた検討

- IANA監督権限の移管と同時にNTIAへの提案提出が求められる
- Cross Community Working Group (CCWG)を設立、この進捗がIANA機能監督権限移管に影響する
- ICANN53前に提案の第1版のパブコメを終了
 - 現在ICANNにおける意思決定は理事会が担っている
 - 以下の権限をコミュニティの付与し、既存のSO/ACの枠組みのもと、それを実現する仕組みに導入
 - 定款変更(Standard・Fundamental)の棄却
 - 予算・戦略・運営計画の棄却
 - 理事(個人・理事会全体)の退任
- CCWG推奨案への支持が得られず、方向性が見直しが迫られる

その他特筆事項

- Framework of Interpretation (Fol)の理事会承認
- gTLD WHOISの見直しに関するポリシー策定プロセス開始に向けた対応が想定されていたが大きな進捗は確認されず
- ICANN CEO退任発表後、初の会議であったが一部の会議で引継ぎなどについて確認があった程度

Q&A

